

2020年11月

みなさまへ

川崎の文化と図書館を発展させる会

代表 佐々木勝男

## 川崎市の図書館の充実と今後のあり方に関する

### 陳情署名協力をお願い

秋も深まり、紅葉の美しい季節となりました。みなさまにおかれましてはお元気でご活躍のことと存じます。日頃より図書館につきまして心を寄せて戴きありがとうございます。

さて、昨年当会は現在進行している鷺沼開発に伴う図書館・市民館の移転に関連し、「川崎市の図書館の振興に関わる」請願を提出。文教委員会での旺盛な議論にもかかわらず、不採択となりました。

その後、次のような経過で行政は、図書館・市民館の変更を粛々と進めております。

1. 5月「新しい宮前市民館・図書館に関する基本的な考え方」の基本計画案の公表。これには図書館・市民館を指定管理にすることを示唆する「川崎版 PPP」が突如提案されていました。6月にはパブコメにかけられ、949通1,826件を越える意見が寄せられました。多くは疑問や反対の意見でしたが、計画には反映されませんでした。
2. 現在、「今後の図書館のあり方について」(市全体の図書館総合計画)の策定中で、11月12日、中間報告が発表されました。今後市民委員も加えた懇談会等で議論され、来年1月に最終案が出される予定です。

この間、宮前区民の方々は、現在の宮前市民館・図書館を存続させ、鷺沼には新たな市民館・図書館を望んでいます。私どもも、川崎市の図書館を検証してみました。川崎市は他市と比較しましても図書館行政の進展は進んでおりません。行政側は、今後、図書館の新たな設置はない、との考えを示しています。

取り分け、気がかりなことは図書館を指定管理にする方向が出ていることです。

私どもはこれに対し、川崎市が今年3月に策定した「川崎版 PPP 方式」が計画に入れられたこと、そしてこれが採用されれば、戦後の川崎市の図書館の成り立ちの大転換となるのではとの懸念を持ちます。宮前区への導入により、川崎市全域の図書館への影響は図りしれません。私どもは、さらなる図書館の充実と今後の発展への願いを陳情に託しました。

コロナ禍の中、郵便にてのお願いで恐縮ですが、下記要領にて陳情にご協力をお願い申し上げます。

問い合わせ先

〒215-0006 川崎市麻生区金程1-36-16 岡本正子

携帯：090-6153-9566